

底之目的ヲ貫徹スル事能ハサルヲ自覚セシ
一、如クナルニ依リテ、秋汎ニ受スル河怒リ、作面上
向キカラサシムルアリトシ、暫ク申立テ標榜スルコト、
ナレリト而シテ、既約既汎ハ約ニテ名ニテ内五
六名ハ四圍ノ事、特到底当地ニ於テハ、糖業ノ見
込ナレト覚悟シ、東糖又ハ大阪方面ニ全線セト申
備シ居ルコト、如シ

一方、合社側ニ於テハ、休業當時製糖ノ配分セシテ、精
造ニ於テカシキ約百噸ニ越シ、生産以テ修放是ルコト申
ハ有向改ノ慮アリ、運送ニ申付未造ニ精造セサルハ約二
十万吨ノ換差ニ由ル立場ニ在リ、手保上秋汎職工申
ノ極メテ、甚長ナル者アリ、漸次採用シ、申付未造ニハ是れ
ア業開始セトスル意留アリト云フ
右及中へ通シ、後如也

兵衛勇 秘中五九四號

大正十一年七月二十八日

兵庫縣知事 有吉忠一

内務大臣 床次竹二郎殿
警視總監殿
京都府大阪府各府知事殿
中津川福岡各府知事殿
神戸地方官利社検査官殿

台湾製糖會社神戸製糖所
爭議ニ関スル件 (中七報)

右會社ハ前報通り精糖精選上分諸ニ附スル
カ、カシキアリテ到底休業ヲ繼續スル能ハル